

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サロンマナーⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	サロンマナーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ科	2	30
使用教材	サービス接客検定公式テキスト3級 サービス接客検定実問題集3級 就職ハンドブック		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける		
到達目標	サービス接客検定3級に合格する 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる 社会人としてのマナーを身につける		
評価基準	テスト50%、課題・提出物30% 授業態度等20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接客検定3級		
関連科目	就職対策		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	岡田 愛子	実務経験	○
実務内容	NPO教育マナー協会認定講師。日本人カラリスト協会認定講師。市の講座・公立中学職場体験・国際フォーラムにてマナー指導者として長きに渡り活動しており、その知識・経験を元に指導		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
4	対人技能（敬語）①	様々な接客用語・敬語について
5	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
6	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて
7	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接客者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業態度等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀			実務経験	○
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーとは、色の連想	授業の目的・到達目標について パーソナルカラーを学ぶ意味を知る
2	色の心理的効果	色の持つイメージと性質、色の心理的効果について
3	色と光について①	色の見える仕組み、光について
4	色と光について②	眼（視覚）のしくみについて
5	色の特徴について①	無彩色と有彩色、三属性について、色相環の作成
6	色の特徴について②	三属性について、色相環・トーン図の作成
7	色の特徴について③	トーンについて
8	配色（色相、トーン）	配色、色相、トーンについて
9	配色（配色の応用、イメージ配色 他）	配色の応用編について 条件にあった配色をつくる
10	対比と同化	対比と同化について
11	混色・慣用色名	混色の原理・慣用色名について
12	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎について
13	パーソナルカラーの基礎② 復習	各シーズンの特徴について、復習
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	7つの習慣Ⅰテキスト、夢のスケッチブック			出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体现する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる				
評価基準	小テスト／レポート：２０％ 授業態度：４０％ 提出物：４０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格					
関連科目	未来デザインプログラムⅡ・就職対策Ⅰ・就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	佐藤圭祐			実務経験	
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	専門学校へようこそ！		未来デザインプログラム授業への価値付けを行うため。 また、日誌を書くことの意味についても説明し、今日からの取り組みを考える		
2	自分制限パラダイムを解除しよう！		自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で夢のスケッチブックの日誌継続を促進する		
3	自信貯金箱		自信貯金箱の概念を理解させ、自分との約束を守らせる		
4	刺激と反応		刺激と反応の考え方を理解させ、一時停止ボタンを使っていこうと思わせる		
5	言葉～ことだま～		言葉の持つ力や自分の言動が成功へと繋がることを気づき・理解・行動させる		
6	影響の輪		集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を知る		
7	選んだ道と選ばなかった道 ～常に正解を選ぶ方法～		自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して決意させる		
8	「SDGs」とは？		国際目標であるSDGsとは何か？ またそのゴールは何かを学び、自分できることを考えさせる		
9	人生のビジョン ～１０年後の自分～		１０年後のなりたい自分像を考えさせることによって、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより鮮明にさせる		
10	自分の価値観を知る		なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を確固たるものにする		
11	一番大切なことを優先する		スケジュールの立て方を学ぶ。決意したことをアクションに落として、実際に活動させる		
12	時間管理のマトリクス		第２領域を優先したスケジュール管理について学ぶ		
13	信頼貯金箱		信頼貯金箱の概念を理解させ、信頼にも貯金箱があることを理解させる		
14	私的成功の振り返り		前期授業内容の確認テスト実施		
15	成功するための原則		前期の総括とともに、後期への目標を設定させモチベーションを高める		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デッサン・イラストレーション		
必修選択	選択	(学則表記)	デッサン・イラストレーション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	スケッチブック 鉛筆 (H HB B 2B 3B) 練りゴム カッター 30cm定規 色鉛筆			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	観察力と洞察力を養い芸術を理解する				
到達目標	基本的な形・人体を描くことで人体の理解ができるようになっている エステやネイル、メイクやヘアのデザインを理解できるようになっている				
評価基準	テスト40%、提出物40% 授業態度等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	和田 夏子			実務経験	○
実務内容	13年間、デザイン会社に勤務しデザイン・イラスト制作に携わる。 現在はフリーランスで講師とイラストレーターとして活動し、その知識・経験を元に指導				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	デッサンとは 鉛筆の基本的な使い方	デッサンの必要性について 用具使用方法と鉛筆の削り方、グラデーション練習
2	基本的な形態の描き方	基本的な形の描き方について
3	人体の描き方①	パーツの描き方について
4	人体の描き方②	顔と髪型の描き方について
5	人体の描き方③	人体の書き方について
6	基本的な形態の描き方（色彩）	色相・彩度・明度を混色で理解する、グラデーション練習
7	色彩実験とグラデーション練習	着彩について
8	模写と着彩①	デザインを考案し着彩する
9	平面構成①	コラージュやデザインなどいろいろな表現方法、技法について
10	平面構成②	コラージュやデザインなどいろいろな表現方法、技法について
11	平面構成③	コラージュやデザインなどいろいろな表現方法、技法について
12	作品制作①	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
13	作品制作②	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
14	作品制作③	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	皮膚学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き				
到達目標	肌を美しく健康に保つためのスキンケアの方法をクライアントに提案することができる				
評価基準	筆記試験50％・小テスト30％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目	生理学Ⅰ・ベーシックエステⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	皮膚学Ⅰオリエンテーション 皮膚の基礎知識 ①		担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1、生体における皮膚の役割 2、皮膚の構造と働き（1）～（2）		
2	皮膚の基礎知識 ②		2、皮膚の構造と働き（2）（3） 肌理について		
3	皮膚の基礎知識 ③		2、皮膚の構造と働き（4）		
4	皮膚の基礎知識 ④		2、皮膚の構造と働き（5）皮脂腺・立毛筋		
5	皮膚の基礎知識 ⑤		2、皮膚の構造と働き（5）立毛筋（6）（7）		
6	皮膚の基礎知識 まとめ 筆記テスト		成績評価①皮膚の基礎知識（断面図・名称）グループ		
7	美容上大切な6つの働き ①		1、皮脂膜 2、角質バリア		
8	美容上大切な6つの働き ②		3、表皮ターンオーバー 4、メラノサイトの働き		
9	美容上大切な6つの働き ③		5、毛細血管の働き 6、繊維芽細胞 7、皮膚の働きのバランス 小テスト／テスト返却		
10	皮膚の生理作用 ①		皮膚の生理作用（1）～（6）保護・体温調節・分泌・吸収		
11	皮膚の生理作用 ②		皮膚の生理作用（7）～（9）ビタミンD合成・貯蔵・知覚／テスト対策		
12	筆記テスト 肌の美しさを損ねる要因 ①		成績評価② 筆記テスト 美容上大切な6つの働き 1、紫外線		
13	肌の美しさを損ねる要因 ②		2、寒気 3、乾燥 4、加齢		
14	肌の美しさを損ねる要因 ③		5、女性のリズム 6、精神的ストレス 7.胃の不調 8、生活習慣 小テスト		
15	総合授業		総合復習 まとめグループ 前期総復習（個人）		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	生理学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・骨格系・筋系・神経系				
到達目標	体を美しく健康に保つためのボディケアの方法をクライアントに提案することができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度(グループワークor課題作成)、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ・ベーシックエステⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宇野 文美代		実務経験	○	
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務後、教員としてエステティシャン教育に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	生理学Ⅰオリエンテーション 生命と適応進化の歴史		担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生命とは 2. 生命40億年／はるかな旅 3. 生命の適応進化とエステティック		
2	生命活動とホメオスタシス	1	1. ホメオスタシスの定義と発見 2. ホメオスタシスの実際 3. ホメオスタシスの具体例		
3	生命活動とホメオスタシス	2	ホメオスタシスを制御する仕組み ホメオスタシスを乱すストレス		
4	身体の基本	1	ホメオスタシスを乱すストレス 1. 身体の構成 小テスト		
5	身体の基本	2	1. 身体の構成 2. 身体的设计図		
6	身体の基本	3	3. 身体を構成する物質 4. 血液 物質運搬 筆記試験範囲まとめ / グループワークor課題作成(成績評価対象)		
7	骨格系・筋系	1 ・ 筆記試験	成績評価①筆記試験 / 1. 体区分 2. 骨格(1)①骨の役割		
8	骨格系・筋系	2	2. 骨格(1)②骨の構造と代謝 ③関節 ④骨格の構成(頭蓋骨・脊椎)		
9	骨格系・筋系	3	2. 骨格(1)④骨格の構成 (胸骨・上肢骨・下肢骨・骨盤)		
10	骨格系・筋系	4	2. 筋系(2)①筋肉の役割 ②筋肉の種類③骨格筋 ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋		
11	骨格系・筋系	5	筋系(2)④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋 筆記試験範囲 まとめ / グループワークor課題作成(成績評価対象)		
12	神経系	1 ・ 筆記試験	成績評価② 筆記試験 1. 神経細胞 2. 神経系の種類		
13	神経系	2	3. 中枢神経 (1)－(2)		
14	神経系	3	3. 中枢神経 (3)－(4)		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	栄養学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する・5大栄養素・栄養所要量・食物摂取とその消化吸収				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、食事と健康・5大栄養素・栄養所要量についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 まゆみ		実務経験	○	
実務内容	栄養士として勤務経験あり。現場経験を活かし、その知識を伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		オリエンテーション		
2	栄養学の基礎知識	5大栄養素 1	1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素（1）		
3	栄養学の基礎知識	5大栄養素 2	1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素（1） 蛋白質		
4	栄養学の基礎知識	5大栄養素 3	2. 5大栄養素（2）（3）脂質		
5	栄養学の基礎知識	5大栄養素 4	2. 5大栄養素（2）（3）糖質		
6	栄養学の基礎知識	5大栄養素 5	2. 5大栄養素（4）炭水化物		
7	栄養学の基礎知識	5大栄養素 6	2. 5大栄養素（5）無機質		
8	栄養学の基礎知識	5大栄養素 7	2. 5大栄養素（5）ビタミン		
9	5大栄養素 まとめ		まとめ		
10	筆記テスト		栄養素の種類・5大栄養素 成績評価①		
11	栄養学の基礎知識	栄養価 1	3. 栄養価		
12	栄養学の基礎知識	栄養所要量 2	4. 栄養所要量（1）基礎代謝		
13	栄養学の基礎知識 まとめ		まとめ		
14	栄養学の基礎知識	消化吸収	5. 食物摂取とその消化吸収（1）（2）		
15	筆記テスト		栄養価・栄養所要量・食物の消化吸収 成績評価② 総まとめ		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	化粧品学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ ・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料		
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン		
関連科目	ベーシックエステⅠ・ベーシックメイクⅠ・ベーシックネイルⅠ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	石塚 順子	実務経験	○
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	化粧品学Ⅰオリエンテーション	オリエンテーション
2	化粧品概論 1	1. 化粧品・医薬部外品と薬機法
3	化粧品概論 2	2. 化粧品の分類
4	化粧品概論 3	3. 化粧品の品質と品質保証
5	化粧品概論 4	4. 化粧品の取り扱い上の留意点
6	化粧品概論 5	まとめ
7	筆記試験	化粧品概論 成績評価①
8	メイクアップ化粧品 1	1. メイクアップ化粧品の目的と働き 2. ベースメイクアップ料 3. ポイントメイクアップ料
9	メイクアップ化粧品 2	着色料について
10	ネイル化粧品	1. ネイル化粧品の目的と働き 2. ネイルポリッシュ 3. ポリッシュリムーバー
11	ヘアケア化粧品	1. ヘアケア化粧品の目的と働き 2. 洗髪料 3. 育毛料 4. ヘアスタイリング料 5. トリートメント長 6. パーマネントウェーブ料 7. 染毛料、ヘアブリーチ
12	フレグランス	1. フレグランスの目的と働き 2. 女性用香水 香水以外のフレグランス商品
13	まとめ	メイクアップ化粧品・ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス総合まとめ
14	筆記試験	メイク・ネイル・ヘアケア化粧品・フレグランス 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る 法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する		
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	宇野 文美代	実務経験	○
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務後、教員としてエステティシャン教育に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックの概念	オリエンテーション 1. エステティックとは何か 2. 内面美容としてのエステティック
2	エステティックの本質と領域 1	1. エステティックの語源と歴史
3	エステティックの本質と領域 2	2. エステティックの領域
4	ソワンエステティック 1	1. ソワンエステティックの語源 2. 目的と期待される効果
5	ソワンエステティック 2	3. スキンタッチの重要性 4. 五感美容
6	美と健康エステティシャンとしての心構え	1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 1. エステティシャンの資質 2. ホスピタリーマインドの意義
7	日本のエステティック 世界のエステティック	1.日本のエステティック 2.世界のエステティック
8	筆記試験	エステティックの概念～エステティシャンの心構え 成績評価①
9	公衆衛生	1. 公衆衛生とは 2. 世界における公衆衛生の歴史 3. 日本における公衆衛生の歴史
10	衛生管理 1	1. 衛生管理全般 2. 消毒方法の種類とその基本的な使用法
11	衛生管理 2	3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるものの消毒方法
12	感染症 1	1. 感染のメカニズム
13	感染症 2	2. エステティックに関連する感染症
14	筆記試験	前期総合 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	ベーシックエステⅠ	
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックエステⅠ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2 60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会
科目の基礎情報②				
授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、 エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する			
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる			
評価基準	実技試験60%(成績評価全2回実施)小テスト20%、授業態度・提出物20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン			
関連科目	皮膚学Ⅰ・生理学Ⅰ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	岡崎 由佳 他2名		実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンやインストラクターとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。長年の 経験を活かし、そのノウハウを伝えている。			
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	ベーシックⅠオリエンテーション ボディエステティックとは	自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. ボディエステティックの目的と効果2. ボディエステティックの流れ3. ルールについて・ベッドセッティング		
2	接客マナー	笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい・基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位・流れ（下肢後面デモ・練習）・下肢後面相モデル練習		
3	ボディマッサージ 下肢後面①	手技練習・拭取り練習		
4	ボディマッサージ 下肢後面②	下肢後面通し練習		
5	ボディマッサージ 下肢後面③	下肢後面通し練習		
6	ボディ実技試験	成績評価①		
7	フェイシャルエステティックとは 接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ 事前準備・基本動作・ベッド誘導		
8	フェイシャル クレンジング①	クレンジング導入・デモ		
9	フェイシャル クレンジング②	クレンジング練習		
10	フェイシャルマッサージ ①	マッサージ導入・デモ		
11	フェイシャルマッサージ ②	マッサージ導入・デモ		
12	フェイシャルマッサージ ③	マッサージ総合		
13	フェイシャルマッサージ ④	マッサージ総合		
14	フェイシャル実技試験	成績評価②		
15	総合技術	総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックネイルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイルⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、 基礎的なケアカラー技術を実践できる				
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、 J N E C 3 級レベルを習得する				
評価基準	実技テスト30%、筆記テスト30%、小テスト20%、宿題及び授業態度他20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級				
関連科目	生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 しのぶ 他1名		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロン・カナダにてネイリストとして勤務。 本部認定講師の資格を取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	教材配布(名称及び説明)今後の説明 歴史・技術体系 図取り・ウッドスティック整え方		検定用に名前を付けさせる 今後3級取得までの流れを説明 出来る事でのメリットを伝え、今までの生徒や講師自身の話をする		
2	ネイル概論 (爪の構造と働き) ネイルの為の皮膚科学 テーブルセッティング ファイリングデモ・実技 (トレーニングハンドにてデモ・実技は自分の爪)		爪の構造・皮膚学(皮膚学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ) 検定に準じたテーブルセッティングを学ぶ トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、5パターンのカットスタイルの違いを理解する ライトを使用する (A L方式)		
3	消毒法 ファイリング実技(相モデル) ・バッフィング ケア デモンストレーション(プッシュアップ・プッシュバック)		消毒衛生を理解する ファイリング相モデル・バッフィングの方法を学び、実践する ケアのデモンストレーションでプッシュアップ・プッシュバックを学ぶ		
4	ネイルのための生理学Ⅰ・Ⅱ ケア デモンストレーション(プッシュアップ・プッシュバック・ニッパーの使い方) ケア実技		生理学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ 正しい使用方法、手順を学ぶ ケアだけのデモンストレーションをプッシュアップ〜ニッパーまで学び、実践する		
5	ケア実技(相モデル)		両手を通しての手順を確実にマスターする		
6	化粧品学 カラーリング デモ シートまたはチップ実技 カラーリング実技(相モデル)		化粧品学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ シートまたはチップを使用し、ボトルの持ち方、ポリッシュの量、塗り方を学ぶ(持ち塗り、置き塗り)		
7	爪の病気とトラブル 爪の異常 ケア カラーリング実技		爪のトラブルを学ぶ カウンセリング〜ケア〜カラーリングまでの手順を学ぶ		
8	検定注意事項3級検定DVD ケア カラーリング実技		検定に向けて手順を完全に把握する。必要があればDVDを用いて講義を行う		
9	ポリッシュアートとペイントアート 講義・デモ・実技 シート練習 アート練習(チップ)		検定以外の基本のアートを学び、ネイルの楽しさを伝える (レ・フ・マ・グ・他) アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ (ドット・ライン・ベタ塗りなどと共に花や葉などの基本形とバランス・色合い)		
10	アート練習 カラー・アート(相モデル)		テーマを決めアート練習 ※チップにラウンド・アートの宿題		
11	ケア・カラー・アート実技 筆記試験対策		手順がきちんと身についているかを確認する ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題 筆記試験対策を行う		
12	筆記試験(テスト) 検定実技		検定技術をマスターする ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題		
13	実技試験(テスト)		夏休みの課題を与える 検定合格に向け、実技チェックを行う 手順/用具の使い方/衛生面を重視してチェックする ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題		
14	検定実技(タイムトライアル)				
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		60
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる				
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する 人にメイクが出来るようになる				
評価基準	テスト50％、提出物30％ 授業意欲20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)				
関連科目	検定メイクⅠ、検定メイクⅡ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀 他2名		実務経験	○	
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)		
2	スキンケア		スキンケア(手順)、反復練習		
3	スキンケア/ベースメイク		スキンケア復習、ベースメイク(手順)		
4	スキンケア/ベースメイク		スキンケアテスト10分 ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗り)		
5	ベースメイク		ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り		
6	ベースメイク/ポイントメイク		ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)		
7	セルフメイク		セルフメイク		
8	ポイントメイク		ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)		
9	ポイントメイク		ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)		
10	ポイントメイク		ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)		
11	フルメイク		ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う		
12	フルメイク		フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り		
13	ソフト		フルメイク(ソフト)		
14	シャープ		フルメイク(シャープ)		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト：30％ 提出物・課題：40％ 授業態度：30％				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	植田 晃子 他1名		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	人間力		これからの流れについて 継続力の大切さについて		
2	夢		メイクの仕事について		
3	人間力		人間関係の考え方について		
4	夢		ネイルの仕事について		
5	人間力		チャレンジすることの大切さについて 挨拶の大切さについて		
6	夢		エステの仕事について		
7	人間力		漢字から読みとる心の授業		
8	夢		ブライダルの仕事について		
9	人間力		継続力が成果を生む・メティスについて		
10	夢		ヘアーアレンジ（美容師）の仕事について		
11	人間力		感謝の心について		
12	夢		若手実業家について		
13	人間力		チームワークについて		
14	夢		礼儀について		
15	人間力		総まとめ		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集			出版社	日本色研事業(株) クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる				
評価基準	テスト40%、検定試験30%、提出物20%、授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀			実務経験	○
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アドバイス実践 (ファッション)	ファッションについて
2	アドバイス実践 (ヘアカラー・メイク)	ヘアカラー、メイクについて
3	アドバイス実践 (ネイル・ブライダル)	ネイル、ブライダルについて
4	総復習	検定試験に向けての総復習
5	総復習	復習と練習問題
6	検定対策授業	復習と練習問題
7	検定対策授業	復習と練習問題
8	検定対策授業	復習と練習問題
9	検定対策授業	復習と練習問題
10	検定対策授業	復習と練習問題
11	パーソナルカラーの判定①	パーソナルカラーの判定に必要な知識について
12	パーソナルカラーの判定②	パーソナルカラーの判定に必要な知識・実践について
13	4つのグループの具体化①	パーソナルカラー4つのグループの特徴を理解し、グループを明確にする
14	4つのグループの具体化②	パーソナルカラー4つのグループの特徴を理解し、グループを明確にする
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる				
評価基準	小テスト／レポート：20％ 授業態度：40％ 提出物：40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	未来デザインプログラムⅠ・就職対策Ⅰ・就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	佐藤圭祐		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	Win-Winを考える		お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さ理解させる		
2	豊かさマインド		人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ		
3	理解してから理解される		人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ		
4	相乗効果を発揮する		人との違いがあることに価値があることを伝える		
5	自分を磨く		自分を磨くことの大切さを伝え、具体的な行動を考えさせる		
6	過去の自分とこれからの人生		具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定に繋がるモチベーションを引き出す		
7	人生ビジョンを見直そう		望む生活をするためにお金が必要であることを知り、現実的なライフプランが大切であることを理解させる		
8	未来マップを作ろう①		未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める		
9	未来マップを作ろう②		未来マップを発表し合うことで、自身の夢を宣言し、実現に向けた決意を促す		
10	感謝の心		人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える機会とする		
11	XYゲーム		ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常に応用することは難しいということを学ぶ		
12	未来デザインプログラムの振り返り		後期授業内容の確認テスト実施		
13	後期の総括		後期の総括と2年生にむけてモチベーションを高める		
14	2年生に向けて①		1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度も頑張ろうと決意させる		
15	2年生に向けて②		1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度も頑張ろうと決意させる		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書			出版社	株式会社ADE CREATES

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト：30％ 提出物・課題：40％ 授業態度：30％				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	植田 晃子 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション
2	人間力	担任の想い
3	人間力	集団で良いチームを作る①
4	人間力	集団で良いチームを作る②
5	夢	卒業生講話
6	人間力	感謝について
7	夢	卒業生講話
8	夢	卒業生講話
9	人間力	感謝について
10	夢	専門コースについて
11	夢	専門コースについて
12	夢	専門コースについて
13	人間力	2年次の自分を想像する
14	夢	春休みの就職活動について
15	夢	春休みの就職活動について

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	サロンマナーⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	サロンマナーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	サービス接客検定公式テキスト3級 サービス接客検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版
科目の基礎情報②					
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる 社会人としてのマナーを身につける				
評価基準	テスト40%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡田 愛子			実務経験	○
実務内容	NPO教育マナー協会認定講師。日本人カリスト協会認定講師。市の講座・公立中学職場体験・国際フォーラムにてマナー指導者として長きに渡り活動しており、その知識・経験を元に指導				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	検定対策授業		復習と練習問題		
2	検定対策授業		復習と練習問題		
3	検定対策授業		復習と練習問題		
4	検定対策授業		復習と練習問題		
5	検定対策授業		復習と練習問題		
6	検定対策授業		復習・検定問題の解答・解説		
7	履歴書作成①		履歴書とは、履歴書のマナー、履歴書の書き方について		
8	履歴書作成②		履歴書作成		
9	社交文書 ①		縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句		
10	社交文書 ②		郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について		
11	理想の美容従事者像		お客様から愛され・親しまれる美容従事者について		
12	実技演習①「受付～誘導」		受付から誘導のロールプレイング演習		
13	実技演習②「面接練習」 実技演習③「電話応対」		面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング		
14	実技演習④「お茶出し」		電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション		
15	総合授業		総まとめ		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・WEB・フォトスキル		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・WEB・フォトスキル		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようにする				
到達目標	顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINE@などのSNSやWEBを通じて発信できるようになる 各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする				
評価基準	テスト40%、提出物30% 授業態度等30%				
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目	フォト&ファッション				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	WEBマーケティングとSNS	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ペルソナの設定などの基礎知識の講義
2	Instagramマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
3	Twitterマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	公式LINEアカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	Youtubeマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	Facebook/Tiktokなどの各種SNSについて	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
7	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、10回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12	ランディングページ(LP)を作ってみよう	SNSで人気のあるLPの紹介と簡易LP構築ツールを使用したLPの作成
13	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	皮膚学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析				
到達目標	さまざまな肌状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目	生理学Ⅱ・プロフェイシャルⅠ(エステ)・ベーシックエステⅡ(メイク)・フェイシャル&ボディⅠ(トータルビューティー)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	皮膚学Ⅱオリエンテーション		担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 小テスト成績評価対象		
2	さまざまな肌状態 1		1. 肌意識の年代変化 2. 美しい肌		
3	さまざまな肌状態 2		3. 衰えた肌		
4	さまざまな肌状態 3		4. 色素沈着を起こした肌①		
5	さまざまな肌状態 4		4. 色素沈着を起こした肌②		
6	さまざまな肌状態 5 筆記テスト		筆記テスト① 成績評価①／5. ニキビ①		
7	さまざまな肌状態 6		5. ニキビ②		
8	さまざまな肌状態 7		テスト返却 / ニキビ③		
9	さまざまな肌状態 / 肌と環境		6. 肌荒れと敏感 1. 肌と地域気候 2. 肌と気象の季節区分		
10	肌分析 ・ 筆記テスト		筆記テスト② 成績評価② 1. 目的 2. 肌分析を行う上で考慮すべきポイント 3. 肌質チェック項目		
11	肌分析		4. 肌タイプ / 肌分析(実践) 小テスト成績評価対象		
12	免疫・アレルギーについて		テスト返却／免疫とは(免疫細胞の種類、免疫システム)／アレルギー		
13	様々な皮膚疾患		様々な皮膚疾患 肌分析／肌トラブル(研究)		
14	肌分析／肌トラブル(研究)		肌分析／肌トラブル(発表) (ALグループ学習・成績評価対象)		
15	総合授業		総合授業を行う ※メイクコース・ネイルコースは総復習を行う		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	生理学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート エステティシンのための解剖生理学(エステコースのみ)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 (エステコースのみ)	

科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系 ・生殖器系		
到達目標	さまざまな体質・体型・状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度(グループワーク)、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン		
関連科目	皮膚学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ(エステ)・プロボディⅠ(エステ) ベーシックエステⅡ(メイク)・フェイシャル&ボディⅠ(トータルビューティー)		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	宇野 文美代	実務経験	○
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務後、教員としてエステティシャン教育に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	生理学Ⅱ オリエンテーション 末梢神経	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 末梢神経
2	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (1) - (3)
3	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (4)
4	内分泌系 1	1. 内分泌系の役目 2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (1)
5	内分泌系 2	2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (2) - (7)
6	筆記テスト / 呼吸器系	筆記テスト① 成績評価① 1. 呼吸のあらまし 2. 外呼吸と内呼吸 3. 呼吸器の構造 4. 呼吸運動
7	循環器系 1	1. 心臓の構造 2. 血液循環 (1) - (4)
8	循環器系 2	3. 心臓の興奮伝達系 4. 血管の種類と構造 5. リンパ系 (1) (2)
9	循環器系 3	4. リンパ系
10	循環器系 4	循環器系 まとめ 小テスト
11	消化器系 1	1. 消化作用 2. 消化器系の構成 (1) - (4)
12	消化器系 2	2. 消化器系の構成 (5) - (7)
13	テスト / 泌尿器系	筆記テスト② 成績評価③ 1. 腎臓とは (1)
14	泌尿器系 / 生殖器系	1. 腎臓とは (2) (3) 2. 副腎とは 1. 月経のメカニズム 2. 妊娠 3. 胚葉分化
15	総合授業	総まとめを行う 感覚／内分泌系／呼吸器系／消化器系 まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 エステティシヤンのための栄養学			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する ・栄養学から見た食品 ・健康と栄養・サプリメント・食品添加物				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウセリング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 まゆみ			実務経験	○
実務内容	栄養士として勤務経験あり。現場経験を活かし、その知識を伝えている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	栄養学Ⅱオリエンテーション	前期の振り返り
2	栄養学の基礎知識 消化吸収	5. 食物摂取とその吸収
3	栄養学の基礎知識 食品 1	6. 栄養学から見た食品（1）
4	栄養学の基礎知識 食品 2	6. 栄養学から見た食品（2）
5	栄養学の基礎知識 食品 3	6. 栄養学から見た食品（2）
6	栄養学の基礎知識 食品 4	6. 栄養学から見た食品（2）
7	筆記試験	まとめ/成績評価①
8	健康と栄養 1	1. 栄養状態の判定 2. 肥満
9	健康と栄養 2	3. 中・老年期の栄養
10	健康と栄養 3	4. 美容と栄養
11	健康と栄養 4	まとめ
12	筆記試験	栄養学の基礎知識（10月―11月分）健康と栄養 成績評価②
13	サプリメント	サプリメント
14	食品添加物	小テスト
15	まとめホームケアアドバイス	フェイシャル及びボディシートの ホームケアアドバイス内容

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	香粧品学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品上の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ ・フェイシャル、ボディ化粧品 ・化粧品に用いられる薬剤とその働き		
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウセリング(エステ)・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ(エステ)・ベーシックⅡ(メイク)		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	石塚 順子	実務経験	○
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション 前期の振り返り
2	フェイシャル化粧品 1	1. フェイシャル化粧品の目的と働き 2. 洗顔化粧品
3	フェイシャル化粧品 2	3. 整肌化粧品
4	フェイシャル化粧品 3	4. 賦活化粧品
5	ボディ化粧品 1	1. ボディ化粧品の目的と働き 2. 洗浄料
6	ボディ化粧品 2	3. シェイプアップ料 4. サンケア料
7	ボディ化粧品 3	5. 制汗・防臭料 6. 浴用料 7. 脱毛料
8	筆記試験	フェイシャル・ボディ化粧品 成績評価①
9	化粧品の原料 1	1. 化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴 2. 水性原料 3. 保湿剤
10	化粧品の原料 2	4. 油性原料
11	化粧品の原料 3	5. 界面活性剤 6. 高分子化合物 7. 着色料 8. 香料
12	化粧品に用いられる薬剤とその働き 1	1. 紫外線カット剤 2. 酸化防止剤 3. 防腐防カビ剤
13	化粧品に用いられる薬剤とその働き 2	4. 美白剤 5. 肌荒れ防止剤など 6. ニキビ用薬剤 7. 制汗防臭剤 化粧品の原料 薬剤とその働き
14	筆記試験	化粧品の原料 薬剤とその働き 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイルⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイル技術の基本を学び実践でき、さらに基礎に加えて J N A 2 級課題である爪の補修・補強を学ぶ				
到達目標	JNEC3級のネイル技術をマスターし、 J N A 2 級取得が出来る技術				
評価基準	実技テスト30%、筆記テスト30%、3級検定結果30%、宿題及び授業態度他10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 しのぶ 他1名		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロン・カナダにてネイリストとして勤務。 本部認定講師の資格を取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	検定実技(タイムトライアル)		検定に向けての総仕上げ (筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して 解答を解説		
2	〃				
3	〃				
4	アート(フレンチ・ラメグラ他) 相モデルにて		白やピンクなどのマットカラーのカラースタンプ練習と 共に前期で学んだポリッシュアート (ラメグラデ等)や アニマル柄やチェックなどを含んだ流行のアートも 取り入れて相モデルにて行い習得していく		
5	アート (マープル・ウォーター マープル) 相モデル				
6	アート (トレンドアート) 相モデル				
7	ハンドトリートメント講義、デ モ、ハンドトリートメント実技		ハンドトリートメントについて学ぶ		
8	ケア・ハンドトリートメント 相 モデル				
9	プレパレーションデモリベア (シルク ラップ) チップラップデモ、実技		爪の補修・補強及び チップによる長さだしの技術を学ぶ		
10	リベア (シルクラップ) チップラップ相モデル				
11	リベア (チップラップ) 相モデル				
12	リベア (チップラップ) 相モデル				
13	実技テスト (アート・チップラップ)		授業の総復習として アートも含め実技を行う (ペイントアート＆ポリッシュアート)		
14	筆記テスト ハンドトリートメント実技				
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックエステⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックエステⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、 肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験60％(成績評価全2回実施)小テスト20％、授業態度・提出物20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ・生理学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳 他2名		実務経験	○	
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンやインストラクターとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	ベーシックエステⅡ オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り			
2	ディープクレンジング(粒子有・無)導入	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔（粒入り・無し）			
3	ディープクレンジング(粒子有・無)練習	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔（粒入り・無し）			
4	ディープクレンジング(酵素)導入	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔（酵素）			
5	ディープクレンジング(酵素)練習	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔（酵素）			
6	ディープクレンジング総合	ケースワーク ※モデルの肌状態で（粒子有・なし・酵素&スチーマー）選択：口頭試問			
7	ディープクレンジング総合	ケースワーク ※モデルの肌状態で（粒子有・なし・酵素&スチーマー）選択：口頭試問			
8	実技試験	成績評価① ディープクレンジング総合			
9	実技試験	成績評価① ディープクレンジング総合			
10	ボディマッサージ 導入	デモ・下肢前面、拭取り			
11	ボディマッサージ 練習	下肢前面、拭取り			
12	ボディマッサージ 総合	下肢前面通し			
13	実技試験	成績評価② ボディマッサージ 下肢前面 拭き取り			
14	実技試験	成績評価② ボディマッサージ 下肢前面 拭き取り			
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセリング		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセリング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	化粧品ブランド資料・カルテ・カウンセリングシート等 筆記用具・ノート…ファイル			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの業界で求められる人材や接客においての言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける				
到達目標	コミュニケーション(対人)能力を身につける 接客サービスの提供が出来るようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀			実務経験	○
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイク業界の仕事とは	授業の目的目標、評価基準、授業ルール メイクの職種について／どんな人材が必要とされているかを理解する
2	メイクの仕事に就く上での、接客マナー・注意点など	身だしなみ・接客用語・敬語・気遣いについて知る
3	スキンケア知識対策 化粧品ブランドのグループ分け	化粧品ブランド調べグループに分ける ブランドの特徴を知る
4	カウンセリングとは①	ビフォアカウンセリングとアフターカウンセリング カウンセリング時の注意事項を理解する
5	カウンセリングとは②	信頼されるための話し方・聞き方・関わり方や声のトーンを理解する
6	カウンセリングシート・実践	記入の仕方（お客様に差し上げるシートには何を記入するのか） お客様のお悩みを聞き出し、要望をこたえるスキンケアを選ぶロールプレイング
7	接客マナー①	来店～施術までの動きを知る
8	接客マナー②	前回の復習 施術後～お帰りまでの動きを知る
9	スキンケア知識対策	ブランド化粧品を研究、今後カウンセリングに必要な知識を理解する
10	ベースメイク知識対策	ブランド化粧品を研究、今後カウンセリングに必要な知識を理解する
11	メイク知識対策①	ブランド化粧品を研究、商品プレゼン(ハンドタッチアップ含)
12	メイク知識対策②	ブランド化粧品を研究、商品プレゼン(ハンドタッチアップ含) テスト／振り返り
13	化粧品検定級対策① 間違いない美容知識をチェック	クレンジング～化粧くずれの対処法(小項目)
14	化粧品検定級対策② 間違いない美容知識をチェック	自分に似合う色の見つけ方～手や爪の特徴を学ぼう
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定メイクⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	3	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする				
到達目標	検定の内容に沿ったメイク技術を身につける スキンケア・メイクアップテクニックを実践できる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック				
関連科目	ベーシックメイクⅠ、検定メイクⅡ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀		実務経験	○	
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	フルメイク/座学		授業の目的目標、評価基準、授業ルール、検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)		
2	フルメイク/座学		フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
3	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
4	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
5	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
6	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
7	ブレ検定		スキンケア10分・フルメイク34分行う テスト扱いとする		
8	苦手克服		フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
9	アドヴァンス検定対策①		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う		
10	アドヴァンス検定対策②		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う		
11	アドヴァンス検定対策③		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う		
12	アドヴァンス検定対策④		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う		
13	アドヴァンス検定対策⑤		検定テーマに合わせて、テストを行う		
14	アドヴァンス検定対策⑥		検定テーマに合わせて、テストを行う 振り返りを行う		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅠ	
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅠ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2 60
使用教材	ヘアアレンジ道具一式 ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート
科目の基礎情報②				
授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする			
到達目標	ブラッシング・ピンニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる 就職活動に必要なセルフテクニックを知る			
評価基準	テスト50％、提出物30％ 授業意欲20％			
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅠ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	本美 さちこ		実務経験	○
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う。			
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称		
2	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入		
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入		
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入		
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る		
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り		
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入		
8	ホットカーラー ピンニング	ホットカーラー反復練習 ピンニング導入		
9	ホットカーラー／ピンニング／逆毛	ホットカーラー、ピンニング反復練習 逆毛導入		
10	ホットカーラー／ピンニング／逆毛	ホットカーラー、ピンニング、逆毛反復練習		
11	アイロン	アイロン導入		
12	アイロン	アイロン反復練習		
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り		
14	テスト	実技テスト		
15	総合授業	まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パーソナルメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルメイク		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		45
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップが出来るようになる				
到達目標	人に似合うメイクが出来るようになる お客様やモデルが希望するメイクデザインをその人の顔に合わせて出来るようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ		実務経験	○	
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション パーソナルメイクとは		授業の目的目標、評価基準、授業ルール 基本プロポーションレクチャー		
2	プロポーション		素顔を生かすセルフメイク/プロポーション測定		
3	理想のプロポーション		素顔を生かすセルフメイクの実践		
4	錯覚Ⅰ		印象チェンジセルフメイク/錯覚メイクの実践		
5	錯覚Ⅱ・色の錯覚		錯覚を応用したテクニック/色彩的な錯覚の実践		
6	色とトーン		色の持つイメージ・トーンの持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。		
7	カラーマップ 質感		カラーマップの見方を理解質感の特徴理解		
8	カラーマップに沿ったメイク		前回と違うパターンのメイクをする。		
9	ベース作り①		座学 顔写真＋自分に合ったベース作り錯覚メイクのプロポーション理解		
10	ベース作り②		前回の資料を元にベースメイク		
11	パーソナルメイクアップ①		相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践		
12	パーソナルメイクアップ②		相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践		
13	イメージチェンジ		相モデルでイメージチェンジメイクを実践		
14	フルメイク		フルメイクテスト／振り返り		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す				
到達目標	メイクの基礎技術から、フルメイクまで出来るようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30％ 授業意欲20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック				
関連科目	検定メイクⅠ、検定メイクⅡ、ヘア&メイク、パーソナルメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀 他2名		実務経験		○
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	フルメイク/座学		検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)		
2	フルメイク/座学		フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
3	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ)		
4	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
5	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの)		
6	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
7	苦手克服		フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う)		
8	プレ検定		スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする		
9	プロポーション		プロポーションについて導入、実践		
10	錯覚		錯覚について導入、実践		
11	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク		ネイル → 色、質感について導入、実践 エステ → メイク対策		
12	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク		ネイル → 色、質感について導入、実践 エステ → メイク対策		
13	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク		ネイル → 色、質感についてテスト エステ → メイク対策についてのテスト		
14	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク		ネイル → 色、質感についてテスト エステ → メイク対策についてのテスト		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ エステティシヤンのためのエステティックカウンセリング(エステのみ)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、 悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウセリングⅠ・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験	○	
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシヤンとして勤務。同時に講師として 15日目、スクール試験や外部試験に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	エステティックカウンセリングⅠ オリエンテーション	オリエンテーション			
2	カウンセラーの役割	1. カウンセリングとコンサルティング 2. 「ソワンエステティック」の担い手として 3. 悩みを解決へと導く心理学療法 4. ストレスにより「ホメオスタシス」も低下 5. エステティックサロンに求められているもの			
3	心のメカニズムと顧客心理	1. 「意識」「情動」「欲求」 2. 「顧客心理」四つのポイント 3. 聞き上手になろう 4. 話し上手になろう			
4	カウンセリングの流れ 1	1. 受付での対応 2. ビフォーカウンセリング			
5	カウンセリングの流れ 2	3. 施術中のカウンセリング 4. アフターカウンセリング 1～4 小テスト			
6	筆記試験	カウンセラーの役割・心のメカニズムと顧客心理 成績評価①			
7	カウンセリングの実際 1	1、サロン内の環境 2、コンサルテーションシート フェイシャル・ボディ メニュー・技術選択の考え方			
8	カウンセリングの実際 2	3、肌性及びトラブルに対する判断 4、体型と体質の判断 5、カウンセリング機器			
9	カウンセリングの実際 3	フェイシャルケース1 (さまざまな肌状態 皮膚学Ⅱがすべて終了している)			
10	カウンセリングの実際 4	フェイシャルケース2 (さまざまな肌状態 皮膚学Ⅱがすべて終了している)			
11	カウンセリングの実際 5	ボディケース1 (循環器系 生理学Ⅱが終了している)			
12	カウンセリングの実際 6	ボディケース2 (肥満・中高年の栄養 栄養学Ⅱで終了している)			
13	カウンセリングの実際 7	肌分析・体分析 ケース①			
14	カウンセリングの実際 8	肌分析・体分析 ケース②			
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート エステティシヤンのための関連法規 エステティック概論・サロンでの衛生消毒		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する ・経済行為、人の身体に直接関連する法律				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウセリングⅠ・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宇野 文美代		実務経験		○
実務内容	エステサロンにてエステティシヤンとして勤務後、教員としてエステティシヤン教育に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 前期復習※エステ実習の為		オリエンテーション 前期の振り返り 3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるものの消毒方法		
2	衛生管理・衛生管理の実践		1. 手指の衛生措置 2. 手指の洗浄と消毒 3. 消毒剤の効果と特徴		
3	関連法規関連法規「法」の基礎知識	1	1. 社会生活と「法」 2. 法とは社会規範 3. 法の強制力 4. 法の原則		
4	関連法規関連法規「法」の基礎知識	2	5. 日本の資格制度 6. エステティックと法律		
5	消費者保護	1	1. 消費者政策 2. エステティックに関連する消費者トラブル		
6	消費者保護	2	3. トラブル対応の心得		
7	人の身体に直接関連する法律	1	1. 四つの衛生法規 2. エステティックに関わりの深い衛生法規		
8	人の身体に直接関連する法律	2	テスト範囲まとめ		
9	筆記試験		成績評価① 消費者保護・人の身体に直接関連する法律・法の基礎知識の範囲		
10	エステティック業界の統一自主基準	1	1. 自主基準策定の目的 2. エステティックの定義		
11	エステティック業界の統一自主基準	2	3. 日本エステティック振興協議会の倫理綱領 4. サロン遵守事項		
12	経済行為に関する法律	1	1. 商法 2. 集客 3. 個人情報の保護に関する法律		
13	経済行為に関する法律	2	6. 消費者契約法 7. 特定商取引引きに関する法律 8. 割賦販売法		
14	筆記試験		成績評価② エステティック業界の統一自主基準～経済行為に関する法律		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅠ	
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅠ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2 60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ・エステティシヤンのためのフェイシャル技術理論・クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会
科目の基礎情報②				
授業のねらい	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける			
到達目標	エステティシヤンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる			
評価基準	実技試験60%(成績評価全2回実施)小テスト20%、授業態度・提出物20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	AEA上級認定エステティシヤン AJESTHE認定上級エステティシヤン			
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	岡崎 由佳 他2名		実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシヤンやインストラクターとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。			
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	プロフェイシャルⅠ オリエンテーション	前期復習・オリエンテーション		
2	ポイントメイククレンジング 形状別クレンジング剤	形状別クレンジング剤の使用方法について ポイントメイククレンジング		
3	ディープクレンジング(粒子有・無し)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔(粒入り・無し) 練習：フェイシャルマッサージ・マスクーふき取りー誘導		
4	ディープクレンジング(酵素)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔(酵素) 練習：フェイシャルマッサージ・マスクーふき取りー誘導		
5	ディープクレンジング 練習	ケースワーク		
6	実技試験	ケースワーク成績評価①		
7	ディープクレンジング(ブラシ・キッシング)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 キッシング		
8	ディープクレンジング(ブラシ・キッシング)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 フリマトール		
9	ディープクレンジング(電気)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 エレクトロクレンジング・ディスインクラステーション		
10	ディープクレンジング 総合	ケースワーク		
11	実技試験	成績評価②		
12	スキンチェック	クレンジング後のスキンチェック方法導入		
13	ケーストレーニング	肌分析 ケースワーク		
14	ケーストレーニング	肌分析 ケースワーク		
15	総合授業	総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロボディⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	クリエース化粧品マッサージオイル・タオル類・消耗品類・採寸用メジャー 新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ エステティシンのためのボディ技術理論		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する 注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合った手技を組み合わせたマッサージを行うことができる				
評価基準	実技試験60%(成績評価全2回実施)小テスト20%・授業態度・提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 麻予		実務経験	○	
実務内容	ビューティセラピスト、美容クリニックでのメディカルエステティシャンとして勤務。9年前より自宅サロンを開業。現場経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	前期の振り返り/前操作デモンストレーション			
2	腰背部マッサージ 導入	デモンストレーション・手技・拭き取り			
3	腰背部マッサージ 練習	通し練習 下肢後面～腰背部			
4	下肢前面マッサージ 導入	デモンストレーション・手技・拭き取り			
5	下肢前面マッサージ 練習	通し練習 腰背部～下肢前面			
6	実技試験	成績評価① 腰背部～下肢前面			
7	上肢マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り			
8	腹部マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り			
9	デコルテ・頭部マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り			
10	マッサージ総合	上肢～腹部～デコルテ・頭部			
11	マッサージ総合	下肢後面・腰背部・下肢前面・上肢・腹部・デコルテ・頭部マッサージの不足箇所の練習			
12	実技試験	成績評価② 総合			
13	ボディチェック (採寸含む)	確認とボディチェック (視診・触診・問診) の デモンストレーション・実践 マッサージ練習			
14	ボディチェックを含めた総合授業	確認とボディチェック (視診・触診・問診) の実践 コンサルテーション・マッサージ			
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト1級 エッセンシャルオイル入門検定1級A/Bセット		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる				
評価基準	筆記試験60％・精油小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1・2級				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ・エスティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳 他2名		実務経験		○
実務内容	大手エステサロンにてエスティシャンやインストラクターとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	アロマテラピーオリエンテーション 第1章 イントロダクション		・アロマテラピーとは・精油とは ・仲間同士の植物の特徴		
2	第2章 エッセンシャルオイル		・精油の持つ性質、作用、抽出方法 ・精油のプロフィール（イランイラン クラリセージ グレープフルーツ）		
3	第2章 エッセンシャルオイル 第3章 セーフティ		・精油の選び方、自然環境との関係、 ・安全に使うための心がけ ・精油の作用・精油のプロフィール（サンダルウッド）		
4	第4章 プラクティス 1		・注意すべき対象者、保管方法 基材について ・精油のプロフィール（ジュニパーベリー・スイートオレンジ）		
5	第5章 メカニズム 筆記試験		・精油が心身に伝わる仕組み 成績評価①		
6	第6章 ビューティー&ヘルスケア		・睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア ・精油のプロフィール（スイートマジョラム・ゼラニウム・ティートリー）		
7	第7章 ヒストリー	1	・アロマテラピーの歴史（エジプト、ギリシャ、ローマ、インド、中国） ・精油のプロフィール（ネロリ）		
8	第7章 ヒストリー	2	・アロマテラピーの歴史（アラビア・イスラム社会、中性ヨーロッパ、日本） ・精油のプロフィール（フランキンセンス・ペパーミント）		
9	第7章 ヒストリー	3	・アロマテラピーの歴史（近世～近代ヨーロッパ） ・精油のプロフィール（ベルガモット）		
10	第7章 ヒストリー	4	・アロマテラピーの歴史（現代 アロマテラピーの誕生） ・精油のプロフィール（ユーカリ・ラベンダー）		
11	第8章 関連法規	1	・アロマテラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（レモン・レモングラス・ローズ）		
12	第8章 関連法規	2	・アロマテラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（ローズマリー・ローマンカモミール）		
13	第4章 プラクティス 2		・アロマテラピーの利用法（紹介のみ）		
14	コラムまとめ 筆記試験		・各章にあるコラムの部分でアロマテラピーの活用や知識の幅を広げる 成績評価②（第1章から題8章まで）		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅠーG		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅠーG		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト1級 エッセンシャルオイル入門検定1級Aセット		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる				
評価基準	筆記試験60％・精油小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1・2級				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ・エスティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳 他2名		実務経験		○
実務内容	大手エステサロンにてエスティシャンやインストラクターとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	アロマテラピーオリエンテーション 第1章 イントロダクション		・アロマテラピーとは・精油とは ・仲間同士の植物の特徴		
2	第2章 エッセンシャルオイル		・精油の持つ性質、作用、抽出方法 ・精油のプロフィール（イランイラン クラリセージ グレープフルーツ）		
3	第2章 エッセンシャルオイル 第3章 セーフティ		・精油の選び方、自然環境との関係、 ・安全に使うための心がけ ・精油の作用・精油のプロフィール（サイプレス・サンダルウッド・ジャーマンカモミール）		
4	第4章 プラクティス 1		・注意すべき対象者、保管方法 基材について ・精油のプロフィール（ジャスミン・ジュンパーベリー・スイートオレンジ）		
5	第5章 メカニズム 筆記試験		・精油が心身に伝わる仕組み 成績評価①		
6	第6章 ビューティー&ヘルスケア		・睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア ・精油のプロフィール（スイートマジョラム・ゼラニウム・ティートリー）		
7	第7章 ヒストリー	1	・アロマテラピーの歴史（エジプト、ギリシャ、ローマ、インド、中国） ・精油のプロフィール（ネロリ・パチュリ・ブラックペッパー）		
8	第7章 ヒストリー	2	・アロマテラピーの歴史（アラビア・イスラム社会、中性ヨーロッパ、日本） ・精油のプロフィール（フランキンセンス・ペチパー・ペパーミント）		
9	第7章 ヒストリー	3	・アロマテラピーの歴史（近世～近代ヨーロッパ） ・精油のプロフィール（ベルガモット・ベンゾイン・ミルラ）		
10	第7章 ヒストリー	4	・アロマテラピーの歴史（現代 アロマテラピーの誕生） ・精油のプロフィール（メリッサ・ユーカリ・ラベンダー）		
11	第8章 関連法規	1	・アロマテラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（レモン・レモングラス・ローズ）		
12	第8章 関連法規	2	・アロマテラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（ローズオットー・ローズマリー・ローマンカモミール）		
13	第4章 プラクティス 2		・アロマテラピーの利用法（紹介のみ）		
14	コラムまとめ 筆記試験		・各章にあるコラムの部分でアロマテラピーの活用や知識の幅を広げる 成績評価②（第1章から題8章まで）		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	スカルプチュア		
必修選択	選択	(学則表記)	スカルプチュア		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る				
到達目標	JNEC1級取得を目指すとともに、サロンワークで通用する技術をマスターする				
評価基準	授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト60％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保		実務経験	○	
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴24年。常任本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入 リベア、オフ デモ・実技		授業の目的・グルーオン・シルクラップ・オフ デモ・実技		
2	チップオン チップラップデモ、実技		チップオン・チップラップデモ・実技ハンド		
3	チップラップ実技		チップラップ（ハンド・相モデル）		
4	チップラップ実技		チップラップ（相モデル）		
5	教材説明 スカルプ理論 （講義デモ） ミクスチュア作りのデモ・練習		教材の説明、スカルプ理論・ミクスチュアの取り方		
6	オーバーレイ		デモ・オーバーレイ実技（ハンド）		
7	オーバーレイ		オーバーレイ実技（ハンド）		
8	オーバーレイ		オーバーレイ実技（相モデル）		
9	スカルプチュア		スカルプチュアデモ・実技（ハンド）		
10	スカルプチュア		スカルプチュア実技（ハンド）		
11	スカルプチュア		スカルプチュア実技（相モデル）		
12	実技テスト				
13	筆記テスト				
14	スカルプチュア		スカルプチュア実技（相モデル）		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ-F	
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ-F	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2 45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②				
授業のねらい	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート（フラット）を描くことが出来る			
到達目標	2級レベルのネイルケア技術（お金を頂くことが出来る技術力）と与えられた課題のアートが描ける			
評価基準	作品提出30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	・JNECネイリスト検定3級・2級・1級			
関連科目	検定対策Ⅰ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	大宮 佳奈子		実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。			
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	ケア・カラー復習	基礎技術の確認と3級検定に向けての総仕上げ（2級対応・プッシャーニッパー強化）		
2	ケア・カラー復習			
3	カラーデモ・実技	パールホワイト・マットピンク・ナチュラルスキンカラーの塗り方デモ・実技		
4	ペイントアート （アクリル絵の具アート）	2級検定に向けてアクリル絵の具を使用してのアートを学ぶ チップにて過去の2級アートのテーマにて作品制作を行う		
5	ペイントアート （アクリル絵の具アート）			
6	実技（ケア・カラー・アート）	2級検定に向けてラウンドの正確さ・プッシュアップとプッシュバック・ニッパーのハンドリングを意識する タイムを計って時間内に正確な技術が出来るようにしていく アートについては毎回テーマを決めて描き、難易度を上げていく		
7	実技（ケア・カラー・アート）			
8	実技（ケア・カラー・アート）			
9	実技（ケア・カラー・アート）			
10	実技（ケア・カラー・アート）			
11	2級検定実技 （タイムトライアル）	ポリッシュオフ～カラーリング・アート		
12	2級検定実技 （タイムトライアル）			
13	実技テスト			
14	実技テスト・筆記テスト			
15	総合授業	総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	3	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、 ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる				
到達目標	JNEC2級・JNAジェル初級の取得及びサロンワークで通用する基礎技術の習得				
評価基準	3級検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・ジェルネイルⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保			実務経験	○
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴24年。常任本部 認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	3級検定実技	3級検定に向けて、最終練習
2	3級検定実技	
3	検定注意事項・2級検定デモ(手順・流れ説明)	JNEC2級検定に向けて筆記対策と共に検定要項に沿った注意事項を確認 基礎的な技術を復習し完全にマスターしていく
4	2級対応ケア練習 (ラウンド/プッシャー/ニッパー強化)	
5	ブレバレーション、チップラップデモ・実技	爪の補強・補修及びチップによる長さだしの技術を学ぶ
6	チップラップ実技	
7	チップラップ相モデル	
8	2級検定後半実技【アート決め】 (チップラップ・カラー・アート)	2級検定の後半実技の練習を繰り返し行う
9	2級検定後半実技 (チップラップ・カラー・アート)	
10	ジェル初級検定実技または 2級検定実技(タイムトライアル)	タイム取りをしてジェル検定実技または2級実技試験の実技の練習を行う
11	ジェル初級検定実技または 2級検定実技(タイムトライアル)	
12	2級検定検定注意事項 筆記テスト	検定要項に沿った注意事項を確認
13	実技テスト	
14	実技テスト	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、 特性を理解して説明して施術が出来る				
到達目標	ネイルの基礎的な知識・技術を理解し、ジェル検初級取得を目指す				
評価基準	初級検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロン・カナダにてネイリストとして勤務。 本部認定講師の資格を取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入・教材説明・セッティング・初級実技試験について		教材説明、セッティングについて、ジェル初級の内容を理解する		
2	ジェル講義　ジェルカラーデモ クリア・カラー実技(自分の爪)		ライトで硬化するジェルシステムをジェルネイルテキストで学ぶ クリア・カラー　デモ・実技　　ハンドチップの装着方法と使い方		
3	クリア・カラー実技(相モデル) オフの仕方		クリア・カラー実技、オフの仕方デモ・実技		
4	クリア・カラー実技 (相モデル)		ジェルカラー相モデル		
5	ジェルアート・講義・デモ		ピーコック・フラワーなどの ジェルアートの基礎を学ぶ		
6	ジェルアート				
7	初級検定説明・デモ		初級検定内容を学び・技術をマスターする ※受験時期により内容を前後して行う		
8	初級検定実技				
9	初級検定実技				
10	筆記テスト 初級検定実技				
11	実技テスト				
12	中級検定について フレンチ・グラデーション デモ・実技		中級検定について内容を理解する　フレンチ・グラデーション　デモ・実技		
13	グラデーション実技		ハンドにグラデーション実技		
14	フレンチ実技		ハンドにフレンチ実技		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	コンテストⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20％・実技テスト60％・アート作品20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNAジェルネイル検定初級・JNECネイリスト検定3級				
関連科目	ネイルケア＆ネイルアートⅠ・検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロン・カナダにてネイリストとして勤務。 本部認定講師の資格を取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入		コンテストについての説明と意識付け モデル選びのポイント・今後のコンテストの予定など、ハンドの仕込みについて		
2	ケア・カラー		サロンワーク対応の技術と コンテスト対応の技術での 相違点を理解する		
3	ケア・カラー				
4	ケア・カラー				
5	ケア・カラー				
6	ケア・カラー実技テスト				
7	アート				
8	アート				
9	アート				
10	アート作品提出				
11	ケア・カラー				
12	ケア・カラー				
13	ケア・カラー				
14	ケア・カラー				
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	クリーン化粧品セット・消耗品類 教科書 新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験60%(成績評価全2回実施)小テスト20%、授業態度・提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宇野 文美代		実務経験	○	
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務後、教員としてエステティシャン教育に携わる。長年の経験を活かし、そのノウハウを伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	フェイシャル&ボディⅠ オリエンテーション	前期復習 オリエンテーション			
2	ポイントメイククレンジング 形状別クレンジング剤	形状別クレンジング剤の使用方法について（ジェル・クリーム・オイル）			
3	フェイシャル ディープクレンジング	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔（粒入り・無し）			
4	フェイシャル ディープクレンジング	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔（酵素）			
5	通し練習	通し練習 肌に合わせた選択をする クレンジングーディープクレンジングーマッサージーマスクー拭き取りー整肌			
6	通し練習	通し練習 肌に合わせた選択をする クレンジングーディープクレンジングーマッサージーマスクー拭き取りー整肌			
7	フェイシャル実技試験	成績評価①			
8	下肢（後）マッサージ復習	前期復習 ご案内-下肢マッサージ-ふき取りー誘導			
9	腰背部マッサージ 導入	腰背部マッサージデモンストレーション			
10	腰背部マッサージ 練習	下肢後面・腰背部 マッサージ練習			
11	腹部マッサージ 導入	腹部マッサージデモンストレーション			
12	腹部マッサージ 練習	腰背部・腹部 マッサージ練習			
13	マッサージ総合	下肢後面～腹部 通し練習			
14	ボディ実技試験	成績評価②			
15	総合授業	総合復習			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	J N E C 3 級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を 学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する				
到達目標	与えられた課題でポリッシュやペイントアートが出来る				
評価基準	アート作品30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	生理学・皮膚学・ネイル演習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大宮 佳奈子		実務経験	○	
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ（筆記・実技とも） 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説			
2	〃				
3	〃				
4	〃				
5	カラー（マットピンク・ホワイトなど）相モデル	白やピンクなどのマットカラーの			
6	カラー（パールカラー・ナチュラルスキンカラーなど）相モデル	カラーリング練習と共に			
7	アート（フレンチ・マーブル）相モデル	前期に学んだポリッシュアートを 相モデルにて行い習得していく ※カラーグラデーションやその他の			
8	アート（グラデーション・ウォーターマーブル他）相モデル	流行のアートも実践する			
9	ペイントアート（アクリル絵の具アート）	2級検定に向けてアクリル絵の具を使用しての アートを学ぶ（全体のバランス、アニマル柄など）			
10	〃	シートにて練習後チップにて作成 過去の2級アートのテーマにて作品制作を行う			
11	ケア・カラー・アート練習				
12	実技テスト（ケア・カラー・アート）	授業の総復習として			
13	〃	アートも含め実技を行う			
14	筆記テスト				
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイル演習		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイル演習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	J N E C 3級の取得をして、更に上級のJ E C 2級検定へ向けて付け爪などの技術を得し、より深くネイルケアの大切さを理解する				
到達目標	J N E C 2級レベルのケアやアートが出来る				
評価基準	3級検定結果30％・宿題/授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	生理学・皮膚学・ネイルアートⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大宮 佳奈子			実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。本部認定講師の資格を活かし、検定やコンテストなどすべての技術指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ（筆記・実技とも） 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説
2	〃	
3	〃	
4	〃	
5	プレバレーションデモ リベア(シルクラップ)デモ・実技	爪の修正及び チップによる長さだしの技術を学ぶ
6	リベア（シルクラップ）相モデル	
7	チップラップデモ・実技	
8	リベア(チップラップ)相モデル	
9	リベア(チップラップ)相モデル	
10	ハンドトリートメント講義 デモ、ハンドトリートメント実技	ハンドトリートメントについて学ぶ
11	ケア・トリートメント・カラー	
12	実技テスト (ケア・カラー・チップラップ)	授業の総復習として チップラップも含め実技を行う
13	実技テスト (ケア・カラー・チップラップ)	
14	筆記テスト	
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅠ	
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅠ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1 30
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート
科目の基礎情報②				
授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする			
到達目標	ブラッシング・ピンニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる 就職活動に必要なセルフテクニックを知る			
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%			
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目	ヘアアレンジⅠ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	本美 さちこ		実務経験	○
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う。			
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称		
2	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入		
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入		
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入		
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る		
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り		
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入		
8	ホットカーラー ピンニング	ホットカーラー反復練習 ピンニング導入		
9	ホットカーラー／ピンニング／逆毛	ホットカーラー、ピンニング反復練習 逆毛導入		
10	ホットカーラー／ピンニング／逆毛	ホットカーラー、ピンニング、逆毛反復練習		
11	アイロン	アイロン導入		
12	アイロン	アイロン反復練習		
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り		
14	テスト	実技テスト		
15	総合授業	まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す				
到達目標	メイクの基礎技術から、フルメイクまで出来るようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック				
関連科目	検定メイクⅠ、ベーシックメイクⅠ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀		実務経験	○	
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。これらの経験を活かし、現場のノウハウを授業で伝えていく。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	フルメイク/座学		フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
2	フルメイク/座学		フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
3	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
4	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
5	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
6	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
7	苦手克服		フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
8	ブレ検定		スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする		
9	プロポーション		プロポーションについて導入、実践		
10	錯覚		錯覚について導入、実践		
11	色、質感		色、質感について導入、実践		
12	色、質感		色、質感について導入、実践		
13	フルメイク		フルメイクまとめテスト		
14	フルメイク		フルメイクまとめテスト／振り返り		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スマホフォト技術		
必修選択	選択	(学則表記)	スマホフォト技術		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける				
到達目標	実際にInstagramのアカウントを作成し、投稿するための撮影技術やレイアウト、コラージュの仕方を学び投稿する 効果的な投稿ができるようになり、フォロワーを増やすことができる力を身に付ける				
評価基準	テスト・小テスト：60％ 授業態度：20％ レポート・課題など：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	WEB・SNS・フォトスキル、スマホ・フォト技術				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション スマホ・フォトスキルとは	
2	アプリ活用①	Instagramを登録して、自分らしいページを作ろう
3	アプリ活用②	効果的な投稿を考える
4	アプリ活用③	フォロワーを増やすために（SNS・WEB復習）
5	アプリ活用④	加工アプリの使い分け、検証
6	自撮り技術①	1番魅力的に映る角度を見つけよう 表情の作り方
7	自撮り技術②	光の入り方と自然光の活用
8	自撮り技術③	背景と色味について、自分のイメージを見つけよう
9	成績評価①	筆記試験
10	加工技術・アプリの使い方①	加工アプリを使ってコラージュを作成しよう
11	加工技術・アプリの使い方②	物・人物の効果的な配置のさせ方
12	スマホ撮影技術①	スマートフォンの画質設定、機能の使い方
13	スマホ撮影技術②	加工アプリを使って実際に撮影しよう①
14	スマホ撮影技術③	加工アプリを使って実際に撮影しよう②
15	総復習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	自己プロデュース		
必修選択	選択	(学則表記)	自己プロデュース		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	客観的な分析力と表現力を身に付ける				
到達目標	・プロデュースとは何かが理解できる ・自分自身のセールスポイントを理解し、人に伝えることができる				
評価基準	テスト・小テスト：80％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	WEB・SNS・フォトスキル、スマホ・フォト技術				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。現場の経験を活かし時代に沿った内容の授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	講師の自己紹介、授業概要の説明 美容業界における自己プロデュース能力の重要性について
2	ブランドとは	ブランドの価値を学ぶ ブランド発想を身に付ける
3	ブランドとマーケティング	ネーミングを実践する 自分を表すキャッチコピーを作成する
4	ブランドのマネジメント	ブランドづくりのマネジメント（PDCA）を身に付ける ブランドのゴールドエンライアングルを学ぶ
5	ブランドスタイル	コンセプトの重要性を学ぶ セルフブランディング能力を身に付ける
6	成績評価① セルフプロデュース①	筆記試験 伝える技術を身に付ける
7	セルフプロデュース②	PREP法を身に付ける
8	セールスライティング①	ベネフィットの重要性を学ぶ 売れる文章の書き方を実践する
9	セールスライティング②	USPを学ぶ お客様がサービスを受けたいと思う理由を考察する
10	アナウンススキル	お客様に伝わりやすい発声方法を身に付ける
11	セールストーク	セールストークとは何かを学ぶ セールストークを実践する
12	プレゼンテーション	プレゼンテーションとは何かを学ぶ プレゼンテーションを実践する
13	成績評価② インフルエンサー	筆記試験 どのような構造でインフルエンサーされているのかを学ぶ
14	インフルエンサー②	インフルエンサーのトレンドと傾向を学ぶ
15	総合授業	これまでのまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルスタイル		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルスタイル		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	自分史上最高のキレイが手に入る「顔」タイプメイク（教員のみ）			出版社	かんき出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する				
到達目標	様々な顔タイプの知識を習得し似合うメイクを診断できる 美容現場でお客様へのアドバイス材料の一つとして提案ができるようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カラーコーディネートⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。現場の経験を活かし時代に沿った内容の授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について
2	顔タイプ診断とは	顔タイプ診断について学ぶ
3	似合うメイクについて	似合うメイクについて学ぶ
4	顔タイプ「キュート・フレッシュ」	顔タイプ「キュート・フレッシュ」について学ぶ
5	キュートのメイク法	キュートのメイク法について学ぶ
6	フレッシュのメイク法	フレッシュのメイク法について学ぶ
7	顔タイプ「フェミニン・クール」	顔タイプ「フェミニン・クール」について学ぶ
8	フェミニンのメイク法	フェミニンのメイク法について学ぶ
9	クールのメイク法	クールのメイク法について学ぶ
10	ケーススタディ	診断実演を行う
11	自己診断（パーソナルカラー含む）	自分の顔タイプ・パーソナルカラーを診断する
12	個人ワーク 成績評価①	自分の顔タイプ結果をカラーージュ作成する
13	メイクの実践	メイクを行う
14	テスト 成績評価②	テストを実施し理解度の確認を行う
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビューティーフード		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーフード		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科		15
使用教材	完全菜食があなたと地球を救う ヴィーガン(教員のみ)		出版社	ロングセラーズ	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する				
到達目標	ヴィーガンを理解し、食事メニュー構成が出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	栄養学Ⅰ・栄養学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 まゆみ		実務経験	○	
実務内容	栄養士として勤務経験あり。現場経験を活かし、その知識を伝えている。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について			
2	ベジタリアンとヴィーガンの歴史	ベジタリアンとヴィーガンの歴史について学ぶ			
3	ベジタリアンとヴィーガンタイプ	ベジタリアンとヴィーガンタイプについて学ぶ			
4	肉食のデメリット・菜食のメリット	肉食のデメリット・菜食のメリットを学ぶ			
5	菜食の生活習慣予防効果	菜食の生活習慣予防効果について学ぶ			
6	テスト 成績評価①	テストを実施し理解度の確認を行う			
7	日本のヴィーガンの歴史	日本のヴィーガンの歴史について学ぶ			
8	ヴィーガンに不足する栄養素とは	ヴィーガンに不足する栄養素について学ぶ			
9	日本菜食「雑穀」について	日本菜食「雑穀」について学ぶ			
10	砂糖の影響	砂糖の影響について学ぶ			
11	七つの食習慣と5つの基本と七つのキーフード	七つの食習慣と5つの基本と七つのキーフードについて学ぶ			
12	テスト 成績評価②	テストを実施し理解度の確認を行う			
13	個人ワーク	個人ワークを行う			
14	プレゼン準備	プレゼン発表の準備を行う			
15	プレゼン発表と総まとめ 成績評価②	プレゼンの発表と総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠーF		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅠーF		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する		
到達目標	お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る		
評価基準	授業態度他20％・接客態度他40％・技術レベル40％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNAジェルネイル検定初級・JNECネイリスト検定3級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	植田 晃子	実務経験	○
実務内容	大手ネイルサロンに勤務。各種検定試験監督経験あり。サロンワーク経験を活かし、接客のノウハウや技術を教える。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	3級検定実技	3級検定に向けて、最終練習
2	3級検定実技	
3	3級検定実技	
4	導入 サロン運営とは	カウンセリング・プロとしての身だしなみ・心構え・言葉遣い
5	導入 サロン運営とは	道具の管理・予約票・カルテ管理・集客方法(SNS活用)など
6	バーチャルサロン準備	グループに分かれてバーチャルサロンを立ち上げる
7	バーチャルサロン準備	
8	バーチャルサロン	グループ発表 教室をサロンに見立ててシミュレーション
9	サロンワーク技術	ジェルアートサンプル作り
10	サロンワーク技術	ジェルアートサンプル作り
11	サロンワーク技術	パラフィン・トリートメントについて
12	サロンワーク技術	パラフィン・トリートメントについて
13	サロンワーク技術	模擬サロン・ロープレ
14	サロンワーク技術	模擬サロン・ロープレ
15	総合授業	総まとめを行う